

秋のお彼岸の頃からだいぶ過ごしやすくなりました。朝晩はひんやりとする気候になって、空気も乾いてきて気持ちのいい季節になってきました。今年の夏は暑かったですね～（毎年そう言っています!(^^)!

ゆん・なんの子どもたちは体調を崩しかけた子もいましたが、乗り切りました。コロナの濃厚接触者になった子もいましたが、陰性で事なきをえました。ゆん・なんどちらにも大学入学した子と来年に入学する子がいて、入学のための奨学金やら学生支援機構の申し込みなどで申請書を子どもと一緒に作ったり、また推薦状を作ったりと忙しくしています。修学旅行に行った子の学校の一人が旅行先でコロナ感染となり、ゆんたくの子、本人はなんの症状もないのですが、一応お部屋で隔離して生活しています。何とか乗り切ります。なんくるのなんくるないさーでいきましょう!! (^^)\_U~



言葉の中に潜むギャップ：専門意識が起こす言葉のギャップ 3回目
外来語は耳慣れない言葉なので、特に高齢者からは心理的な抵抗感をもたれてなかなか受け入れてもらえないのも現実です。このようなカタカナ用語は、高齢者にもわかる日本語「翻訳」することが必要です。何よりも不必要に多用することは避け、使う際にはその言葉の読み方や意味、ちょっとした解説を入れながら質のギャップを埋めて伝えていきましょう。

(3) 略語 私たちの身の回りは略語があふれています。携帯電話はケータイ、通信販売を通販、パーソナルコンピュータをパソコン、となじみのあるものから、生活保護を生保、ケアマネジャーをケアマネ、社会福祉協議会は社協、などと福祉業界にも多くの略語が存在します。最初のころは生保は「生命保険」と混同し、社協は「写経」や社会教育の「社教」児童相談の児相も着付けをしている人に「自装」と聞き間違えられました。ましてはSDGsのようなカタカナ用語の略語は、元の言葉の意味を知らないとさっぱりわからないものばかりです。さて、続きは次号で(Sはsustainable持続可能な Dはdevelopment開発 Gはgoal目標 sはなど)



ゆんたくホームのゆんたくさびら (おしゃべりしましょう)

9月にはシルバーウィークで3連休がありました。一度目はタイミングよく台風がやってきましたね…あいにくの天気でも外にも出かけられず、「暇や…」と子どもたちがぼやく姿が見られました。

そんな連休でしたが、9月は学校行事で文化祭準備や校外学習、修学旅行がありました。以前からとても楽しみにしており、「来週、、」「明日！」と指折り数えて待っていました(^\_^) 当日はとても充実していたようで、感想をたくさん聞かせてくれました。嬉しそう顔を見て、スタッフもとても幸せな気持ちになりました!!



なんくるはなんくるないさ～ (なんとかなるよ!)

朝晩は肌寒い日が多くなりましたが、子どももスタッフも、みんな体調を崩すことなく元気に過ごしています。

なんくるでは、進学に向けて準備を進めている子がいます。春まではまだまだ時間があるように感じていましたが、あっという間に秋になり…あと2か月で今年が終わるという現実に驚いています(;▽;)

進学に向けて今できること、やらなければならないこと、たくさんあります。時間を大切に一つ一つ積み上げていってほしいですね。スタッフも一緒に頑張りたいと思っています!!





らいげつ あんない  
**来月のキッチンゆんたくのご案内**  
 2022年

かいさい  
 11月16日(第3水曜日)開催  
 よてい  
 予定メニュー

- ・ゆんたくカレー
- ・サラダ



**お知らせ**

へんこう  
 今月から、キッチンゆんたくの開催場所を変更し、**上桂の天理教**さんで行います。

また、日付も**第3水曜(10/19)**に変更するので、お間違えのないようにお越しください!!  
 お待ちしています(^^♪



**10月のキッチンゆんたく**

メニュー♪

- ・ゆんたくカレー
- ・サラダ

しだいしゅうりょう  
 夕方5時~なくなり次第終了

りょうりょう むりょう うけつけ ぼきんぼこ  
 利用料：無料(受付に募金箱を設置します。  
 ご協力よろしくお願ひいたします。)

かんせんたいさく りゅうい かいしょく  
**感染対策に留意して会食とテイクアウトの両方で開催します!**

しだいしゅうりょう はや  
**なくなり次第終了です。早めにきてね!**

くるま らいじよう  
**※※お車での来場はできません※※**

とほ じてんしゃ ごと  
**徒歩・自転車でお越しください**

**Thankful**

きんりん かいしゃ きま きんいっふう いただ  
 近隣の会社K様より金一封を頂きました。フードバンク京都様また今回はコープ自然派様、京都様フードセンター様からはそれぞれ食材や食品・飲み物を頂きました。  
 みなさま  
 皆様、ありがとうございました!

Thanks



かみしばい えほんしょうかい  
**紙芝居・絵本紹介**

**『スーホの白い馬』**

おぼんのか かつてつ せい  
 大塚 勇三：作  
 あかば すえよし え  
 赤羽 末吉：絵

つた がつき ばとうきん ゆらい ものがたり よ  
 モンゴルに伝わる楽器、馬頭琴の由来となった物語です。読んであげるなら4歳から、物語に入る込み涙を流す子どももいます。小学校2年生の国語の教科書に採用された名作です。

<あらすじ>

むかし そげん ひつじか しょうねん す  
 昔、モンゴルの草原に、‘スーホ’という羊飼いの少年がおばあさんと住んでいました。‘スーホ’は貧しいけれど働き者でした。

ある日、‘スーホ’は生まれたばかりの小さな白い馬を助け、家に連れて帰って心をこめて世話をしました。やがて子馬は立派に育ち、誰もが見とれる美しい馬になりました。

ある時、殿様が競馬の大会を開くことになり、‘スーホ’も白い馬と出場することになりました。優勝者は、殿様の娘と結婚できるのです。国中のたくましい若者が集まり、自慢の馬で競いましたが、優勝したのは‘スーホ’と白い馬でした。ところが、‘スーホ’が貧しい羊飼いだと知った殿様は、約束を守らないばかりか、白い馬まで取り上げてしまいました。‘スーホ’は悲しみに暮れます。ある晩のこと、白い馬は逃げてきました。体には矢が何本も刺さり、汗が滝のように流れ落ちています。翌日、白い馬は力尽き、‘スーホ’の腕の中で死んでいきました。悲しみと悔しさで、‘スーホ’何日にも眠ることができませんでした。ようやくとろとろと眠り込んだとき、夢の中に白い馬が出てきて、「自分の骨や皮や筋や毛を使って楽器を作ってください」といい、楽器の作り方を詳しく教えてくれました。夢から覚めたスーホは夢中で楽器を作りました。これがモンゴルの楽器‘馬頭琴’ができた由来です。